

市政報告ニュース 第22号 2015年1月

藤沢台在住 金剛高校1期生

富田林市議会議員
3期目 12年

尾崎てつや

緑と子どもたちの歓声があふれる富田林をめざして!

www.ozaki-tetsuya.jp



こんにちは、富田林市議会議員の尾崎てつやです。
皆様方におかれましては良き新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。皆様のご支援によりお送りいただいた市議会3期目の任期も残りあと3ヶ月となっております。
さて、私は昨年6月で50歳になりました。富田林に生まれ育ち、半世紀が経過いたしました。この節目を迎えるにあたって、年を重ねるごとに故郷に対する愛着がさらに一層深くなっていくと感じています。私たちのふるさと富田林は、緑豊かな自然に囲まれ、南河内独特の人情深い、温かみのある、人々の絆が深い、本当に暮らしやすいまちです。
しかしながら、今日、私たちを取り巻く環境は、進行する少子高齢化や、なかなか実感の持てない景気回復、さらに本市にとって最重要課題である人口減少など、大変厳しいものとなっております。
このような状況のもと、私たちに課せられた命題は、いかにして愛するこの富田林を後世に引き継いでいくことだと考えています。そのためには、**私たちにとって本当に必要なものは何か、的確に判断し、将来の子どもたちに負の遺産を残さないことが重要です。**
将来にわたって、本市に暮らす全ての市民が「富田林で暮らしてよかった」と思えるようなまちづくりのため、これからも、全力で活動してまいりますので、温かいご支援を賜りますようお願いいたします。

富田林市民プールが復活します **今夏オープン!!**

みなさんの想いがカタチに

多くの方から「市民プールがほしい」という声を頂いており、私たち「とんだばやし未来」は、市民プール復活に向けて再三にわたり市議会質問で取り上げてまいりました。これを受けて、平成27年夏、「**幼児をはじめどなたでも家族で楽しめる新たなプール**」をコンセプトとした市民プールがオープンすることとなりました。
場所は旧川西プール跡地(すばるホール南側)で、オープンは平成27年7月の夏休みからの予定です。25メートルプールのほかに幼児用プール、アトラクションプールも設置されますので、多くの市民の皆様にご利用いただけることと楽しみにしています。



▲イメージ

先進事例を学び、政策提案しています **とんだばやし未来 視察報告**

避難所運営について

平成26年5月

…千葉県船橋市

船橋市では東日本大震災時、倒壊家屋や液状化等により57ヵ所の避難所に5,500人が避難し、市職員だけの避難所運営が困難になったことを教訓にして、行政からの支援いわゆる「公助」だけに頼らず、相互に助け合う「共助」により、**地域の方々が市で作成した「避難所運営マニュアル」に沿って避難所の開設・運営を行う取り組みが始まっています。**また、高齢者、障がい者、けが人、ペット連れなどの様々な避難者の受け入れや避難所受付の設置、開設、救援物資の到着や分配など、避難所で想定される様々な事柄をゲーム感覚で体験する「避難所運営ゲーム(HUG)」によりシミュレーションし、地域住民が独自に避難所を運営する訓練を行っています。船橋市の取り組みは富田林市でも有効であると考え、私たち「とんだばやし未来」は本市での実施について市議会にて提案しています。



▲東京都江戸川区



◀船橋市役所

その他の視察

- 川越市「中心市街地活性化基本計画」
- 東京都江戸川区「子ども未来館」



藤沢台小学校庭芝生花 1周年イベント(H26.10.11)

すこやかネット葛城中 (H26.10.25)

小金台小学校運動会 (H26.5.31)

富田林市防災訓練 藤陽中学校(H26.11.2)

全国都市問題会議 高知市 (H26.10.9)

尾崎てつや とんだばやし未来会派議会質問(抜粋)

平成26年度の「とんだばやし未来会派」の議会質問の一部をご報告させていただきます。
 詳細については、富田林市議会のホームページ(<http://www.city.tondabayashi.osaka.jp/gikai/index.html>)の映像配信をご覧ください。

シティセールスの更なる推進について

平成26年6月議会

質問

全国的に人口減少・少子高齢化が進行する中、本市においては平成14年をピークに人口が減少に転じ、今後も減少傾向が続くことが予想されている。人口減少は、税収減、経済の縮小、地域住民活動の低下など、都市の安定した運営への影響を懸念し、私は、かねてより人口誘致や企業誘致、観光振興など、本市に住み続けたい、訪れたい、働いてみたいという市内外の人々の気持ちを引き出すシティセールスの重要性と必要性を訴えてきた。

今後、シティセールスへの取り組みを展開していくには、まず、現在の課題を整理し、都市経営戦略としての明確な位置づけと枠組みを構築の上、具体的なビジョンを持つことが不可欠であると考えます。

シティセールスの推進には民間企業が用いるマーケティングを取り入れ、専門的な知識を持つ人材を民間から登用するなど実施体制を強化する必要があると考えますが、

- ①今後のビジョンと課題について
- ②シティセールスの更なる推進と体制強化について聞く。

答弁

シティセールスをさらに推進するには、課題を整理したうえで明確なビジョンを掲げ、効果的な戦略を企画立案し、着実に実行していくことが不可欠であり、民間企業が実践しているマーケティングが必要であると考えます。また、専門知識を持つ即戦力の人材の登用も含め体制強化について研究していく。

避難所運営ゲーム(HUG)について

平成26年6月議会

質問

避難所には元気な方だけでなく、高齢者、幼児、障がい者、けが人、ペットを連れてくるなどいろいろな人が避難される。また、受付の設置、食糧確保、救援物資の到着など考えられる。HUGは、そのような避難所で想定されることをゲーム形式で行う事であり、地域住民にも体験してもらうことにより、災害時にも役に立つと考えるが見解を問う。

答弁

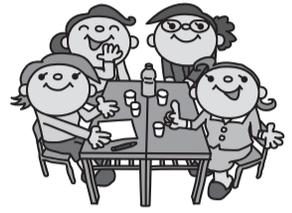
議員提案のHUGは、地域住民、町会、自治会や自主防災組織などの連携強化につながることからまずは、職員において体験研修を行い、地域で開催される出前講座などでも提案していく。

学校施設(校庭・余裕教室)を地域に開放することについて

平成26年12月議会

質問

どの地域にも必ず存在する学校を地域に開放し、教育施設から福祉施設や文化、社会教育、自治活動などの地域のコミュニティ活動の拠点としての機能をあわせもつ事を必要としていると考える。また、学校が防犯、防災の拠点となれば地域防災力の向上にもつながると考えるが見解を問う。



答弁

平成26年6月に策定した「余裕教室活用指針」に照らし合わせると、一部の学校で余裕教室が発生した。活用については、庁内で聴取し、今後は町会など地域への公表も考えている。

子どもたちの遊び場について

平成26年12月議会

質問

- ①放課後や長期休暇に校庭を利用することについて
- ②公園でのボール遊びについて

子どもたちが外で遊んでいる姿を見る機会が少なくなっている。犯罪の凶悪化などにより子どもたちだけで自由に遊べる環境が減少してきている。そのような中で子どもたちが誰にも邪魔されることなく自由に遊べる場所は、学校の校庭と公園である。しかし市民から学校の校庭では放課後遊べないといった声を聞く。また公園ではボール遊びが禁止されている。子どもたちが自由に遊べる場所の提供は我々大人の責任である。見解を問う。



答弁

校庭の利用時間は学校によって異なり、午後4時半や午後5時までで、スポーツ団体や学童保育の配慮等により利用しにくい状況もある。今後は、学校とも協議し、子どもたちにとって利用しやすいよう改善に向けて検討していく。

公園でのボール遊びについては、公園周辺の地域や教育委員会とも協議し、子どもたちが気軽に野球やサッカーなどできる場所について調査、研究する。

「金剛バル♡ウインターランド」が開催されました



私たち「とんだばやし未来」は、本市西部地区での賑わいの創出として金剛地区の中心である金剛駅から金剛連絡所までの市道金剛1号線ならびに金剛中央公園界隈での市民参加型イベントの開催を市議会で提案してまいりました。これを受けて金剛中央公園において12月23日～25日の3日間、クリスマスイルミネーションが飾られ、12月23日にはイルミネーションの点灯式とともに飲食やゴスペル、ダンス、ハンドベル演奏などのステージを楽しむ「金剛バル♡ウインターランド」が開催され、多くの市民がクリスマスのひと時を思い思いに過ごされました。

第3ほんわかセンター出張所「けあばる金剛」(地域包括支援センター)が開設されました

地域包括支援センターは、高齢者や御家族が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、保健師などの専門職が相談対応にあたる総合窓口です。近年の相談件数等の増加を受けて、平成27年1月13日、金剛連絡所隣に第3ほんわかセンター出張所「けあばる金剛」が新たに開設されました。詳しくは市役所高齢介護課まで。



ご意見・ご要望等お聞かせください

子どもから高齢者まで、より多くの方からご意見を伺い、政策を立案し、行政に提案していく活動が、これからの富田林市には重要であると考えています。「ちょっと時間あるから」、「堅苦しいものでなく“ざっくばらん”に話したい」等、どんなことでも結構ですので、お電話、ファクス、Eメール等にて下記までご連絡ください。一つでも多くの皆さんのお声を市政へと届けてまいります。

尾崎哲哉 プロフィール

昭和39年

富田林市五軒家生まれ
 富田林市藤沢台在住
 久野臺小学校、金剛中学校、金剛高校(1期生)
 中学、高校時代は陸上部主将

昭和62年

平成15年4月

平成19年4月

平成20年5月

平成23年4月

大阪商業大学卒業
 富田林市議会議員選挙にて初当選
 富田林市議会議員選挙にて2期目の当選
 富田林市議会副議長に就任
 富田林市議会議員選挙にて3期目の当選

平成24年5月
 お気に入り
 マイブーム

ホームページ
 ブログ
 Facebook

富田林市議会議員に就任
 海釣り、サザンオールスターズ、映画鑑賞、沖縄
 大阪マラソン2014でフルマラソンに初挑戦
 (完走タイム 4時間27分)
www.ozaki-tetsuya.jp



ブログQRコード FacebookQRコード

